

## 4. 会誌及び著書の出版

### 4-1 広報委員会

本委員会は、当協会の目的達成に必要な各種の情報及び事業活動に関する情報を関係者に積極的に広報することを目的として、継続設置されている事業実施機関であり、年間4回の機関紙「大学教育と情報」の発行する他に、大学関係者に広域的に伝達するため、ホームページにも掲載している。

#### (1) 会誌「大学教育と情報」の発行

本年度は、「Vol. 11 No. 1号」から「Vol. 11 No. 4号」を発行した。発行部数は、15年3月末日現在、全国の私立大学・短期大学・当協会賛助会員、関係省庁及び関係団体・関係機関を中心に17,000部となっている。

編集は、読者に魅力ある会誌となるよう、次の点を基調として発刊している。

- ① 情報技術を活用した教育や支援環境に関するテーマを「特集」として取り上げ、とりわけ、話題性の高いテーマを設定している。
- ② 多種多様な加盟校を紹介するため、大学の規模・種別、情報環境の類似性を考慮して「情報教育と環境」として掲載する。
- ③ 海外における情報技術を利活用した教育や環境の話題について、最新情報を翻訳し、紹介する。
- ④ 学系別の教育における情報技術の活用事例を紹介する。今まで掲載した学系別の分野であっても、視点を変えて再度取り上げる。
- ⑤ 授業などへのIT活用を始めた教員の実践事例を「授業改善奮闘記」として紹介する。
- ⑥ 全体的に平易な表現および文体とし、読者にわかりやすいよう努める。

なお、広報活動をホームページで補完するため、会誌をはじめ各種刊行物・資料などを掲載し、関係者への情報伝達の徹底化に努めている。

#### (2) ホームページのリニューアル

ホームページのトップページのリニューアルを行い、大学関係者が必要とする情報が迅速に得られるようにした。また、現在掲載している情報以外に随時掲載できる情報はできるだけ多くホームページ上で公開することとした。

(3) 会誌「大学教育と情報」Vol. 11 No. 1～No4の掲載内容

【大学教育と情報 Vol. 11 No. 1】

- ・ 巻頭言「IT革命が呉れたチャンス」 三浦 信行
- ・ 特集「高等学校における教科「情報」への取り組みと大学との連携」
  - 「普通教科「情報」の要点」
  - 「高校における情報教育の本格的な始動」 東京都立墨田川高等学校
  - 「高校・大学間連携による特色ある高校づくり  
～多様な学習機会の提供～」 神奈川県立茅ヶ崎高等学校
  - 「岡山県立鴨方高等学校における情報教育と  
インターネットを活用した大学・高校との連携」 岡山県立鴨方高等学校
  - 「教科「情報」実施に向けて～早稲田大学高等学院での試み～」  
早稲田大学高等学院
  - 「埼玉県立和光国際高等学校における情報教育」 埼玉県立和光国際高等学校
- ・ 環境学の教育における情報技術の活用
  - 「環境政策学科・統計処理演習での情報技術の活用例」 小田倉正圀
  - 「ランドスケープの計画と設計におけるコンピュータの活用」  
金子 忠一
  - 「環境社会学の研究教育と情報技術」 船橋 晴俊
- ・ 投稿
  - 「ダンス研究におけるDVD映像資料の作成  
～タンザニアとマラウィの素材から～」 栗田 和明
- ・ 情報教育と環境  
高崎商科大学／成蹊大学
- ・ 授業改善奮闘記  
「学生に支えられてのIT授業」 佐々木明男
- ・ 私情協ニュース
- ・ 賛助会だより

【大学教育と情報 Vol. 11 No. 2】

- ・ 巻頭言「情報教育を進めるにあたって」 大谷 哲夫
- ・ 特集「鼎談 マルチメディア教材の開発を考える  
多摩大学 今泉 忠／早稲田大学 高木 憲夫／明治大学 高村 潤
- ・ 心理学の教育における情報技術の活用
  - 「心理学基礎実験におけるホームページの利用」 木村 裕
  - 「パソコンは心理学研究・教育の『台所』」 金子 尚弘
  - 「体験を通して学ぶコミュニケーション学と心理学の接点」  
吉田 弘司
- ・ 情報教育と環境

大阪産業大学 / 近畿大学

- ・ 授業改善奮闘記

「いつも学生と共に」

森 園子

- ・ 文部科学省ニュース

- ・ 私情協ニュース

- ・ 翻訳「通信教育、高等教育の認定、および自己規制方針の間の微妙なバランスの維持」

Maintaining the Delicate Balance: Distance Learning,  
Higher Education Accreditation, and the Politics of Self-  
Regulation

【大学教育と情報 Vol. 11 No. 3】

- ・ 巻頭言「通巻100号を迎えた本誌の役割を考える」 向殿 政男

- ・ 特集「大学における情報管理

～電子化情報の有効利用と公開を目指して～

座談会

多摩大学 今泉 忠 / 立正大学 山崎 和海

芝浦工業大学 石井 博文 / 立命館大学 杉町 宏

上智大学 萬崎 英一

「法政大学における個人情報保護」

「イギリスの大学における個人情報保護の事例（早稲田大学）」

久保 徹

- ・ 文学教育における情報技術の活用

「文学教育における情報技術の活用 遠隔講義の意味と将来性」

竹本 幹夫

「習うより慣れろ～火付け役としての我が情報教育～」

渡部 芳紀

「国文学の研究・教育と『デジタル技法』

～奈良女子大学日本アジア言語文化学講座での試み～」

千本 英史、轟波美和子

- ・ 情報教育と環境

武蔵工業大学 / 福岡工業大学

- ・ 授業改善奮闘記

「アナクロ・アナログ派とパソコン」

生方 卓

- ・ 私情協ニュース

- ・ 翻訳「通信教育、高等教育の認定、および自己規制方針の間の微妙なバランスの維持(後編)」

Maintaining the Delicate Balance: Distance Learning,  
Higher Education Accreditation, and the Politics of Self-  
Regulation

【大学教育と情報 Vol. 11 No. 4】

- ・巻頭言「情報教育に期待すること」 寺部 暁
- ・特集「e-Learningの実践～魅力ある教育を目指して～」
  - 「サイバーキャンパスとこれからの大学教育」 清水 康敬
  - 「オンデマンド型インターネット授業の概要と課題」 宮崎 耕
  - 「共に学ぶe-Learning～園田学園女子大学～」 山本 恒
  - 「法政大学におけるe-Learningの取り組み  
～リアルタイム型遠隔授業のシステム事例～」 林 公
  - 「インターネットによるe-Learning  
～東京工科大学～慶應義塾大学で実施～」 河西 宏之
  - 「教員個人でのe-Learning導入  
～LMSを用いた多人数授業の改善～」 小林 貫之
- ・会計学の教育における情報技術の活用
  - 「簿記e-Learning兼教育支援システムについて」 岸田 賢次
  - 「Web-Based授業理解度自己評価システム」 高松 正昭
  - 「インターネットを活用した会計の国際授業10年間の歩み」  
M. Susan Stiner、嵯名 一郎
- ・情報教育と環境  
桜美林大学／兵庫大学
- ・授業改善奮闘記  
「理科系の大学での『文学』の授業」 小田中章浩
- ・文部科学省ニュース
- ・私情協ニュース
- ・翻訳「分散学習：教育機関経営者にとっての新たな課題と好機」  
Distributed Learning: New Challenges and Opportunities  
for Institutional Leadership
- ・賛助会員だより

(4) 会誌「大学教育と情報」の私情協ホームページへの掲載

大学・短期大学の関係者にさらに広域的に伝達するため、会誌を私情協のホームページに継続して掲載した。また、「情報教育と環境」、「大学教育環境探訪」のページは、英文でのアブストラクトや説明文を加えている。

## 4-2 出版物の刊行

「平成13年度私立大学教員による授業での情報機器使用調査の報告」と「私立大学向けネットワークセキュリティポリシー」を5月の総会で、「論文誌情報教育方法研究」は11月の総会で紹介するとともに、会員校に配布した。